京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金二十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久靜一郎
京城南大門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

禁酒會員

近頃禁酒會なるものが非常に流行して來た。從て此種の會を非難する者も生じて居る。甚だ喜ぶべき現象として吾人は先ず以て歡迎する。僕の知て居る二三の友も、昨年中に禁酒會なるものに入會した。正月の屠蘇祝りには、何れも美しく六十錢のメタルを下げたり、或は昆布の御話を受けて上盃の上には、日本禁酒同盟會員何々など〜物凄い大書して特々として居る。僕は、此の特筆大書に對して些か皮肉を挿込む積りはないけれ共吾人は聊か意見を提したくなる。禁酒會は、自家に禁酒會員を特筆大書して、暗に飲酒家は入るべからずとなし、出ては會員のメタル仄めかしながら「一杯どうですか」と盃を呈すれば、「失禮」と答へて先に禁じたものがある。御己ならず、[illegible]に努めて飲まれぬなんて稍々嫌氣味になつて呑み廻るものさへある。世に禁酒家と命名せざるを得ん。僕は、此の種の會員を目して、偽禁酒家と命名せざるを得ん。進んで禁酒會員なるもの〜家庭内を見る、或は藥劑なりとシャンペン酒を貯へ、或は滋養飲料なりと稱して葡萄酒を用ひて居る。シャンペンは酒にはあらざるか葡萄酒にはアルコールを含まざる乎。而も吾人が禁酒家が訪問すれば、茶菓を出して禁酒の必要を説き、強ては禁酒會員たれと勸誘する。矛盾も甚だしきに至つては沙汰の限りと謂はねばならん。

僕は、禁酒會なるもの〜趣旨には反對しない。只だ其會員と號するメタルを下げた人物が、果してその趣旨を遵奉したときの意思を守つて居るや否やである。僕が僕の知てる三四の友人に就て見るも、有ほ言行の一致せんものがある、況や、日本禁酒同盟會員と稱する幾百千人のことを思ふと、轉た慨然たるものがあらうと思ふ。

屠蘇酒（二）

以上の草根木皮、漢方醫藥の法とは申しながら、之を採收するに、或は末開の蕾よりし、或は根の皮よりし、或は稍根より、二年根より、或は果實の度なり探りて、是等の生藥を配合加味するに至りたるは、經驗か、將た學識か……醫師、下山博士は

「人類在てより以來、其疾病苦患を免れんとする天稟の性情は、人類同樣のもの天産物に就て、治病回生の効ある者を驗見せり、是れ實に生藥學の由來する所にして、醫學藥學全般の基始と稱するも不可ならず（中略）歐洲高有理學の隆興する此當ては、動植金石の諸科及び化學の一大部分は、各々獨立學科を形成せり、藥學は生藥學より支分して、藥學の支流たりし博物理化の諸學は今復た其の原泉に灌注して、まず〜深淵の勢を増大せしむ其關係亦奇ならずや。」

と申されたのである。我れ此の博士の言に感じ、また「收採するには、たゞ秋の末と、春の初とを宜しとす、春の初には則ち草木始て萌し、未だ枝葉に充たず、秋の末には則ち液汁下降否く本根に歸す。」との書き記載に敬服し、又た是等植物と、其の有効成分との關係などにも想到して、飽かぬ思ひに、短き一日を。あゝ是等の雜味方量が、適當に配伍せられ調合せられ、或は少女の唇頭に上ぼり和せられて、或は新婚の豐頰に紅を潮して、或は美目盼たりの佳境に誘り、忽ち醉ひ、忽ち醒め、日々に新にして、又た日々に新玉の裳立つけふ、何等の嬰麗か其の影を潜めうか、飲みて且つ食らひ、笑ひさゞめき樂しむ門に、如何なる禍か來るまいか。千萬歳來めでたし〜

市場果して如何

日露戰役後に於て本邦市場の投機熱は其の極に達し同時に新會社の創立廣告は全國到る處の新聞紙に現はれたり、然るに斯くの如く創立を企てられたる新會社にして實際に創立を見たるもの殆んどなく只一時の投機的事業に過ぎざりしなり是處に於てか市場漸く動搖し來り不景氣を絶叫するに至れり一昨年度に於ける韓國は比較的不作なりしと雖も本邦は之れに反し豐作を以て迎へられ昨年度は日韓兩國共に豐作なりしは汎く世人の認むる處となりと雖も不景氣の聲は依然として去らざるのみならず益々不景氣に陷るに到たり之れが原因とも云ふべきは米價の一昨年までは辛くも十四圓臺に居りしものが昨年の如きは十一圓臺までに低落され市場爲めに農民は一箇年に於ける耕作費及び肥料等より打算する時は到底引合ふべきものあらざれば彼を抱きながら飢餓に迫るの悲を呈したるは爭はざる事實なりため農民の購買力頓みに減退したる影響は直ちに金融市場に及ぼしさしも日露戰役に於て逼迫せる金融は緩漫となり資金は固定し各銀行業者は自然と貸出し及び預金利子の引下げを行ふに至りかくの如く金融緩漫時に於て事業家の踉起すべき時機なるに不景氣摩理に壓倒されて猶起する能はず事業家も亦悄然の情態にあり、これが爲めに政府は不景氣は元來米價の凋落したるに因るものとし先づ挽回策の方法として米價を騰貴せしむるために外米輸入税を法外に昂上せしめて不景氣を防遏せんと爲したるもかくの如き方法にては其の効果を見るに至らずして事止みとなりたるのみならず益々不景氣に陷るの状態とありしを以て銀行業者は再び利子引下げを行ふに到られば茲に於て遂澤男を筆頭に對商シンヂケートを企だてたりしと雖も其の規模のあまりに小なりしを以てこれとて有名無實の譏に葬られ殆んど市場は執るべき方法を執らず成すべき方法を成すに由なからしめ又々預金利子引下げを斷行するの已むなきに到りたり本邦市場や斯くの如し本邦と韓國とは各々市場に於ける性質異なれりと雖も大體に於て本邦市場の支配を受くるものなれば韓國も不景氣に陷りたる自然の趨勢にして事實已むを得ざるなり要するの一昨年以來の不景氣は戰後財政膨脹の結果として當然來るべき現象なれば已むを得ずとして最早財政整理も大概完整せるものなれば四十三年度に於ては昨年度の如き金融緩漫は遂てもあるまじき考慮なるも財政整理完整に安心して活躍せざるに於ては再び昨年の如く市場の不振を觀るに至るべし

◎新刊紹介

▲實業の世界　當編日與副業の不景氣の救濟策等なき讀物なり號を以て讀むに價あり▲大商店を壓倒せんとする小商店の大同盟は新業者の注目すべき事也（東京芝區三田三島町同誌發行）▲東京經濟雜誌　京濱實業河針濃もあり（東京京橋區南左衛門町經濟雜誌社）▲政友　論説の陪審制度の必要確達博士の刑事裁判改良の方法最も注意あるものなり街市國來年度豫算の明細なる記事亦一見の價あり（東京芝公園立憲政友會事務所）▲明治大學々報　本年生及學部記載あり（東京神田駿河臺明治大學）

日本銘刀傳

第十三席　邑井一　講演

行「オイ〜酒を持つて往きねえ」一同「其様物は入らねえ、施して腕拱ぬいて這らうこ」後見送つて正宗は腕を拱ぬいて考へて居ると、奥の方よりツカ〜〜ッと出て來たる親父の兼光、突如枠の襟髪取つて引摑し　兼「ヤア巳れ、代りに當り附けて大言を吐くから、世間の者から惡まれて兼様な目に逢ふのだ、畢竟其様な細工の上誰れか京都へ様子を探ぐりに往き逃早くも企くんだ狂言に遂ひない、御前の恥になる、以後は仲と思はん、御勘致す、出て往けよ」と打々殴止ゼ打擲致す。兼光も路鹿でないから怒ち怒つた、其上、鼻面を蹴ひます、高の知れたる青二才と正宗を侮つたの故、私の不覺、是れから直ぐに出立なし、姻擾蘭へ参つて正宗に面會なし、刀を鍛つ問答をして、若し正宗が夫程の力がなく京都の人々が依估の沙汰で正宗を鍛一番にしたと云ふ形跡がありますれば手前其樣で斬落して御覽に入れます、萬一正宗に夫丈の立派の腕前が有るなれば私は彼の門人となつて一生修業致しますから、暫らくの間御暇を願ひます」と兼光なか〜負けない氣象だからフイと長船を飛出し、途中も今のやうに便利でないから、日に歩み夜に宿つて漸く鎌倉へ乘込んで來た、五郎の住居は流石に相模の宗匠だけに立派なものだ、玄關へ來つて　兼「御頼み申す御免なさい、御頼み申す」取「ドーレ」取次が出て來ると、尻を端折つて一本差した上へ合羽を着て居る途中姿は何う見ても仲間のやうだ、取次の來たのを見て尻を下して　兼「エ、私は生國は申しませんが、日本國中を修業をして歩るく刃鍛冶でございます、若し苦しからずは細工場を拜見致したいものでございます　取「左様でございます、唯今宗匠に伺つて見ますから少々是れにて御休息を願ひたい」と洗足の水を取つて與れた、兼光は足を洗つて玄關の次の間で休息をして居る、取次は奧へやつて來て　取「御師匠さん、唯今仲間の修業者が來て、御細工場が見たいと云ひますが如何致しませう」正宗が聞いて　正「細工場が見たいと云ふなら



後に仕事に掛かる時見せてやるが好い暫らく休息さして置くが宜い」要內に今日は最大切な刀を頼まれて細工に掛かるので、正宗は仕事場に這入る、正「先刻の客人に仕事が見たくば御覽に入れますと言へ　取「畏りました」やがて兼光の休息して居る所へ來て　取「何卒此方へ御通りを願ひたい　兼「宜しく願います」と脇差を持つて往くには及ばぬのだけれども、正宗へ議論を仕掛けて場合に依れば突殺してしまはふと云ふ考へがあるから、左の手に脇差を提つて肩を怒らして仕事場へ這入つて往く、程好き所に座布團を敷いてある　正「御客人、さあ此へ座つてお與んなさいまし　兼「是れは始めて御面會致す、是非一つ御手遊を拜見したい」誠に無禮千万な奴だ、姓名も名乘らずに他人の鍛場を見に來るとは何んと云ふ失禮なと思つたが、正宗は色にも出さない、兼光は何んの正宗がと思ふから、ツカ〜ッと布團の上へ座る、正宗は恭しく裝束を付け、烏帽子を冠つて正面に向つて座はる、三人の弟子が間に直つて向ふへ運はり、やがてテン〜と一つ入れる、テン、カン、テン、カンと今迄柔和であつた正宗も仕事に掛るとなると、實に傍眼も振らない、テン〜カン〜一生懸命に鍛へが掛かる、彼優無量の兼光も思はず膝を前へ進む、チーン、カーン、チン、カンと十二三打込んでチーン、カーンと上鎚を打つたが、餘りに心が這入り過ぎて正宗は氣絶して倒れた

京城新報

在留邦人の本籍

邦人の半島に移住して既に久しく茲に三十有五年其の數[illegible]殆ど十五万以上なるは事實なり而も或る時代に於ては非常に婦人の數少なかりし事ありしも現今に於ては其の數大に增加して京城は勿論邦人の居住する處必ず小學校、幼稚園等ありて是等に通學するの兒童の數日一日と多きを加ふるを見る[illegible]少からざるに到れり、乃ち其の證として[illegible]此の如く邦人居住者の家庭を形成し恒產を有し土着するもの多數の如くなるにも拘らず實際に於て今日迄本籍地に[illegible]

[illegible]

何れの地にても苟くも人生の事業を成さんとするには[illegible]何れの地に[illegible]無力者と[illegible]必ず失敗に失敗を[illegible]困難を感ずるに[illegible]以て之れを觀れ[illegible]移住者は意を決し[illegible]の覺悟を爲すは[illegible]然して斯くの如[illegible]しめんとせば何[illegible]移住民の本籍[illegible]移すことを得せし[illegible]に半島人たること[illegible]を根本より忘れ[illegible]は最も必要なり今[illegible]あり民團役所あ[illegible]備はり居れ[illegible]提論を實行[illegible]轉籍者續々とし[illegible]民の氣風に好變[illegible]問題たる事小な[illegible]係を有す爲政者[illegible]に係はる處我が[illegible]等閑に附す[illegible]

東京電報

新年宴會と勅語

新年宴會に於て內外臣に賜はりたる勅語[illegible]

[illegible]各國代表者並に諸[illegible]歡を與にするは[illegible]玆に友邦代表者[illegible]健康を祝し併せて[illegible]ん事を望む

御進講題の決定

來る[illegible]鳳凰間に於て行は[illegible]書始め御進講題目[illegible]

[illegible](故セルヤエヤ)(民族の進步)[illegible]たり(七日)

[illegible]大學教授[illegible]入京[illegible]米文章)[illegible]文學博士　三島毅[illegible]猪熊夏樹

首相と施政方針

來る二十一日[illegible]桂內閣總理大臣は施政方針を演說すべし(同上)

新巡洋艦の命名

新造[illegible]世保海軍船渠にて[illegible]三菱船渠にて建造[illegible]造船所にて建造中[illegible]

侍従武官の差遣

侍從[illegible]に差遣さる(同上)

新年東京の金融

東京[illegible]般發展の兆あり金[illegible]て日銀貸出及兌換發行高漸次增加し其結果歳末放資金は殆んど回收されつゝあり畢竟是れ一般金融の緩慢によるも長期貸付の金利比較的有利なるに依る(同上)

謝罪使と伊藤家

韓國謝罪使二名は今七日伊公墓前に參詣して謝罪の意を表し後恩賜館にて伊藤家の鄭重なる饗應を享けたり

謝罪使の橫濱行

韓國謝罪使の一行は本日大森恩賜館に立寄りたる上橫濱へ向ふ(同上)

梨本宮の御歸任

越年の爲め御歸京中なりし梨本宮守正王殿下は名古屋第三師團に御歸任相成たり

議員の宮中資格

貴衆兩院議員の宮中席次近日發表の筈(同上)

哈爾賓電報

西比利亞と移民

哈爾賓民事移民事務官アキンソン氏は二百五十名の移民募集の爲め西比利亞に出張せり(七日着)

北京電報

墺門の境界問題

淸葡兩國案の墺門境界問題は交涉不調に歸し葡國政府は英國政府の仲介により該問題を海牙仲裁々判に附せんと運動中なるも淸國政府は絕對的に反對し今後の交涉頗る困難なり(七日着)

歐州電報

印度の密謀發覺

印度政府は「デカンサッジン」密謀發覺の結果三十七名を捕縛せり(七日着)

佛政府と關稅案

佛國關稅改正案下院を通過す上院を通過せば三月三十一日より施行せらる可し

雜報

水產組合の將來

朝鮮海水產組合に於ては來る二十日より代議員會を開きて諸般の報告、業務の打合せ等をなす由なるが右に付農商工部庵原漁政課長は同組合の將來に就き左の如く語れり

統監府設置前に於ては朝鮮海水產組合は警察、通信及び營業等漁業者の行政機關の殆んど全部を掌握して其任に當りたる觀あり斯く業務の多端なる爲め漁業者に最も必要なる漁業上の指導に全力を注ぎ得ざる恨みありき然るに統監府設置に於ては諸般行政事務皆及したると共に水產行政の如きも水產局を設けたるのみならず各理事廳に水產技術者を置くに至りたれば水產組合が從來の事業の大半は他に委すとも大なる支障なき譯なり故に水產組合たる者は必ずや其面目を改めざる可からざるべし然らば如何なる事業を以て組合今後の事業となすべきやと云はゞ余は先づ組合員に直接必要なる業務の指導に重きを置くこの得策なるを信ずる者にして例へば如何なる方面に如何なる漁業經營をなせば利益なるや又は漁具漁法の改良及び使用方法を指導するが如き又は移住者若しくは通漁上に於て各府縣の取るべき方針を指示するが如き又未だ知らざる點を指示するが如き又は各種の製造販賣等に關して營業者の冷藏方法及び其供給に便利ならしむる計畫をなすが如き猶ほ進んでは捕獲物並びに需要品の共同販賣及び購入方法を講ずるが如き其他之れに類する共同的利益を擧ぐべき施設は現在に於て最も必要なるに依り水產組合今後の方針としては此等の施行に重きを置くを要す尤も組合が從來行ひたる警察又は通信機關の補助或は醫料施藥水難救濟の如きも未だ全然廢止すべからざる現狀なるを以て今直ちに前述の業務のみをなすべしとは斷言せざるも少なくとも以上述ぶる所の局面の發展は時代の推移に伴ひ朝鮮海水產組合の取るべき當然の業務なりと認むるなり

▲ハーバートの談

一兩日前紐育に着し目下華盛頓に滯在中なるハーバート氏は公言して曰く日韓合邦は明かにポーツマウス條約に違反すべく非理不當これより甚だしきは無し韓人は決して合邦を肯せず若し之を決行せんとせば國內戰鬪絕ゆるの期無かるべし予は韓人の爲に力を盡す事足らざるが故に愛國心に富める韓人中予を怨み予に危害を加へんとするものありしを以て予の京城より大連に赴く際は日本の保護の下に在りき然るに日本の新紙が是等の保護者を目して秘密探偵なりとしたるは誤解なり云々

韓太子の歸韓期

韓太子は東京御留學後一回も御歸韓なきが來る四月早々岩倉太子輔育總裁と共に御歸韓親しく兩宮を訪はせらるべしと御滯在期間は約廿日間位の豫定也

金融組合の增設

度支部にては本年度に於て新たに五十一個所の地方金融組合を增設する計畫なりしも豫算の都合にて本年は三十個所新設することに決定したるが何れの地方に設置すべきかは大体に於て決定し居るも地方經濟事情の緩急を計る爲め目下設置すべき地方を研究中なりと

民團の豫算編成

京城民團にては目下來年度の豫算編成に吏員は日夜忙殺せられつゝあるも遲くも本月末までには完成する豫定にして理事者側の意見としては大体に於て前年度と異ならざるも高等女學校々舍の新築に三萬五六千圓を要すべく其他小學校及び高等女學校生徒の增加に伴ふ經常費の膨脹するは自然の勢なるも來年度に於ては他に新事業の計畫せられたるものなしと云ふ

一銀支店の純益

第一銀行韓國各支店は京城釜山を除くの外總て其業務を韓國銀行に引繼ぎたるが今四十二年度下半季に於ける第一銀行の純益金は總計八十五萬圓にして內韓國にての純益金は三十三萬圓なり之を前年半季に比すれば總額に於て十万圓韓國に於て五万圓の減收を見たり因に韓國總支店の純益の內譯を記すれば京城支店二十七萬三千圓(前期に比し二萬圓減)釜山支店二万七千圓其殘餘は仁川平壤其他各支店の純益なりと

●韓全國の牛馬總數

農商工部最近の調査に依れば韓國に於ける牛馬の總數は牛四十五萬九千四百八十二頭馬二万三千〇七十七頭にして之を各道別にすれば

府道	牛	馬
漢城府	三五九	一、二五八
京畿	三六、五六六	一、五八五
忠北	一二、五四四	一、二二一
忠南	一五、一九六	一、二九八
全北	一三、四五〇	一、三三八
全南	二八、一五八	一、三五一
慶北	五二、五二〇	二、二九五
慶南	四九、一〇五	一、六六九
黃海	三七、三三四	一、五九二
平南	二五、一七二	一、三五八
平北	五七、七〇七	二、九三七
江原	四八、九四一	三二五
咸鏡南	五七、四三九	四、二九二
咸鏡北	二六、一八五	三、六六八
計	四五九、四八二	二三、〇七七

因に右表の中黃海道瑞興、遂安、全州、新溪、兎山五郡に於ける馬數は未詳に付き包含せず

●新設慈惠醫院盛況

內部にて地方に設置したる慈惠醫院は開始以來僅々數十日の日子に過ぎざるが成績頗る良好にして淸州の如きは日々診察療治を乞ふ者七十餘名の多きに達し中には十數里を遠しとせずして診斷を求め來る患者も少からず尙ほ全州及び咸興の如きも日々五十名乃至六十名の多きを數へ成績意外に良好なれば內部衛生局にては益其規模を擴大し傳染病者を收容すべき隔離室若くは手術室等を增設する筈にて夫れ〳〵計畫中なれば遲くも四月中にはこの希望を達するに至るべく既に淸州に於ては隔離室に充つべき敎場建物等準備中なれば早々器具寢具を据付け傳染病者を收容するの運びに立ち至るべしと云ふ

●度量衡事業の擴張

農商工部本年度の豫算に度量衡事業費として十萬八千九百四十三圓を計上しあり是れ政府は本年より三ケ年間を期して全國に度量衡を普及せしむる方針にして即ち右は本年度に於て度量衡事業を擴張する爲めに要するものなりと

●留學生監督の任命　日本に留學せる韓國學生監督申海永氏は昨秋死亡後久しく欠員の處六日學部秘書課長兼書記官李晩奎氏其後任に任せられ近日東京へ向け出發赴任の筈

●曾禰統監宮島到着　曾禰統監は六日午后五時宮島に安着せし旨其の筋へ打電報ありたるが同所に一泊の上高松に到り豫定の行程に上る

●梅法學博士の歸東　在京中の同博士は昨七日午前九時南大門發列車にて歸東されたり

●光州警察の開署式　新築中の光州警察署は落成せるを以て來る十六日開署式を行ふ筈なりと

●校友送別會盛況　在京城早稻田大學校友六十餘名は一昨六日午後六時より倶樂部に於て井上雅二氏の送別會を兼ね新年宴會を催せり當日幹事杉田金之助氏の挨拶井上氏の答辭あり早稻田大學總長大隈伯其他各地校友よりの祝電多數來り極めて盛會なりしと云ふ

●犬の習慣調査書　內部警務局藤原調譯官は今村警視の校閲を以て近々犬に關する習慣の調査を發表する筈なるが其の項目は使用の目的として食用藥用、愛玩用、掃除用、鬼神攘ひ等に傳說珍話並諺等より頗る趣味ある者也と

●法學士會の盛況　六日夜花月に於て開催せる法學士會は石塚、小宮、俵、倉富、松井、吉原、林の諸氏六十八名にして松井茂氏の開會の挨拶に次ぎ來賓梅博士古賀辯護士の答辭あり盛況也き

●高級副官の交迭　駐劄軍司令部高級副官安達中佐は今回大佐に陞進して步兵第二十八聯隊(北海道旭川)聯隊長に補せられ軍司令部附步兵少佐竹本竹次郎氏は高級副官に補せられたり

●學部と秘書課長　學部秘書課長李晩奎氏留學生監督に任命せられたるに付其後任には李恒稙氏任命せられたり

▲埋藏彈丸發見　碧瀾渡分遣所々長高橋秦吉氏は黃海道白川郡金谷面金谷洞(碧瀾渡の西北約一里)附近に暴徒が彈藥を埋藏したることを探知し去る五日補助員二名を率ひて出張し里長崔承俊及び執行朴德[illegible]なる者を取調べたる所同地西北方約八百米突の山間の畑に多數の彈丸を埋藏しあることを語りたるに依り現場に至りて發掘したる所小銃彈丸二千六百四十個重量約三貫匁餘ある鉛柱十本及び鉛塊一個を發見したる由なるが里長等の語る所に依れば一昨年十二月二十七日の夜暴徒首魁金昌鎬(有名なる賊魁にして一昨年二月白川郡弓月面に於て戰死)以下十八名は銃器(洋銃十挺)及び前記の品物を持ち來り翌二十八日白川郡食暢洞まで持ち來れと里長に命じて去りしが里長等は甚だ重くして容易に運ぶ能はざるに依り其儘に打捨て置きたるに賊も其後來らざりしも官に申告するときは後難の恐れあるを以て已むを得ず埋藏したるものなりと云ふ

李總理の退院期

漸次回復に向ひつゝありし李總理は傷口も殆んど癒合し飲食物も稍進步なる流動体を攝取するに至り体溫脈搏等平調にして最も氣遣はれたる膿血も全部其跡を絕ち咳嗽も止り經過極めて良好なれば今明中退院自邸にて靜養すべしと

李在明の連累者

鍾路監獄に收容中なる李在明、金龍文、金秉鎭及び吳仁星等は其後も尙ほ訊問を繼續し漸々其步を進めつゝあるが彼等はいづれも無名の書生輩にして其連累といふも畢竟平素暗殺の陰謀を議し合ひ似而非慷慨に憂身を窶し無謀[illegible]の士を氣取り居たる友人といふに過ぎず從つて關係者は意外に多かるべきも李完用を暗殺せんと企てたる兇行前夜白石史方に一泊し李在明の情婦酌婦と共に酒汲み交したる三名に止まるべく兇行當時李在明の懷中には僅々八錢五厘を剩せしのみにて平素も左して金ありといふには非ず常に勞働に衣食し居たりといへば教唆者についての手蔓等なく係官も目下中心訊問中也と

龍山通信(七日 支局發)

▲鐵道管理局記事　鹿兒島線大畑停車場に於ては去十二月廿六日より一般運輸營業を開始したりと通知ありたるに就ては管理局線と旅客大小手荷物の連帶取扱をなすことゝなりたり△四十二年十二月中圖們連絡旅客手小荷物數量左の如し

旅客(出二七一一人(昨年より二百人減)入一九七三人(同四百十八人增))手小荷物(出二八七二個(同四百四十七個減)入三二一〇六個(百六十四個增))

▲龍山團役所刷新　同民團役所にては本月一日より處務規定を改定し內部事務の刷新を計ると同時に外部に對しても團居其他に使用する一切の用紙を準備し凡て居留民の便利に供し轉居の事は總て口頭にても差支なく處理せしむる方針を取ることゝなしたれば以後は居留民の爲め更に輕便のことゝなり又徵稅法の如きも從來に比して管理の方法を採用する目的を以て目下吏員に於て調査に從ひつゝありと

●井上雅二氏招宴　近く渡歐の途に上るべき同氏は九日午后六時より大久保軍司令官、明石參謀長、各參與官、其他官民數十名を京城ホテルに招宴す

●鐵道官吏の來韓　鐵道院[illegible]出張所長岡村初之助同平壤出張所長小城齊及び鐵道院參事柳水異榮同副參事中村健二郎の諸氏は六日來韓太陽館投宿

●宋鍾憲氏の渡日　宋秉畯氏の子息宋鍾憲は山口縣萩中學校に在學中なるが昨多暇京中の處昨七日歸校したりと

●都督府武官來韓　關東都督府步兵少佐大田黑龍藏氏六日來韓太陽館投宿

●取消文　(前略)今朝の貴紙治外法權中「間違がしにならぬことは大岡君が曾て多數の高麗燒を東京に輸出して大損をしたこと」云々と有之候へども小生は曾て夢にも去る事實無之候一昨秋歸東の際土產として持歸りたる高麗燒を友人へ贈り候處意外に乏しき人々の多きことゝて何等の感興を惹かざりしを以て小生は歸韓後日本への土產には五圓の高麗燒の壺を贈るよりは一圓の朝太郞の半鐘を贈りたる方却て歡迎さるべしと一笑いたし候次第に御座候若し小生に似たる事を致居る事は小生に於ても間違がしにならぬことに候間御取消し下されたく候匆々一月初七大岡力

▲治外法權▼

在滿洲の一友人から記者に寄越した年賀狀の二白に曰く『君等が日韓合併論を主張せらるゝは中々ご變んな事だ、トロデート將べて最もたいのは滿洲の將來だ、韓半島を合併しても滿洲が今日の儘では屋根の無い御堂同前だ、雨の降る度毎に[illegible]が漏れるに違ひない▲京城民團吏公金私消事件に關連してどかで熊谷前民長や林田助役が檢事から家宅搜索を受けた、記者は事件の內容に就て何等委敷知らぬが只た[illegible]民團ともあろうしも、司直官は此際居留民に代りて我京城に斯る事件の持上りたるを慨く現在出事の行はるるは獨り民團役所のみにあらず統監府の會計及び韓國側の諸役所の會計にも盛んに行はれ就中鐵道管理局が最も甚しなりとの噂だ、司直官たるもの此時を閑却せずに民團が濟んだら統監府や韓國諸役所や鐵道の方へ手を附けべしである▲朝鮮人の新聞には新聞代の請求廣告が一樣に掲げてある、其文言は泣訴的のもので彼の出納來にも劣らぬ、之を以て見ると韓讀書人の如何に貧乏になつたかが知れる▲平壤では若林理事官勢力の下に市中電車が出來るそーだ、之は至極結構の事だ、何でも文明の機關は續々入れて速かに[illegible]▲大岡力君から昨紙本欄の記事に關し別項取消文が來た、但し京城日報が觀光團をやる前に一大岡力なる人が東京に向け高麗燒や骨董品の大輸出をやつたてとは事實だ、併し此大岡なる人は京日の大島君と[illegible]人であるを見べる

京城民團の醜狀

▲續々醜吏を出す

[illegible]民團吏員の[illegible]金額[illegible]事件は俗々[illegible]醜類る容易ならざ[illegible]して事件の眞相は業[illegible]犯行の範圍は唯だ[illegible]額を看服したるのみ[illegible]宅捜索あり且つ元[illegible]林田谷廣民長及[illegible]其眞相の概要を摘記[illegible]

▲犯罪の手段 [illegible]

數種の税目を一葉の切符に併記

[illegible]は畢竟[illegible]中に[illegible]記する能はざるも[illegible]は昨紙所報の如く該[illegible]不備にして納額[illegible]告知金額に對する[illegible]は此缺點に乘じ[illegible]する形式[illegible]徵收する可[illegible]

私服 過剩額

[illegible]式けを[illegible]其他にも徵收税[illegible]ずして橫領したる[illegible]も元來[illegible]

月間繼續 數千數箇

[illegible]きも元來其口數數千の[illegible]れは彼等の自白も提[illegible]文記簿すら存せざる

▲調定簿は如何 元來税金の徵[illegible]により一々先づ其の[illegible]簿に記入の上是に[illegible]の作成を爲す手續な[illegible]

犯罪の手段は該簿

[illegible]記載して告知書を發[illegible]ものは原府のみなり[illegible]許役と授受する場合[illegible]のみと對照する爲め[illegible]覺するの機無くして

▲調査頗る複雜 斯かる次第な[illegible]以來民團にては特に[illegible]統監府は其監督權能[illegible]役所に派遣し綿密な[illegible]

極めて複雜

[illegible]のるも頗る複雜[illegible]暗黑の觀あり而し[illegible]よるも尙は未だ豊消[illegible]行の開始期何月頃に[illegible]なりと

▲家宅捜索の結果 一昨日執行したる家宅捜索は民團役所と對しては證書の進行上彼れ等の犯罪手段を究むるの必要ありて帳簿の種類及之が記入の方法並に關係書類の形式等を調査するのみに止まり何等他に證據物件として押收されたるものなかりしが唯だ谷林田兩氏宅に於ては一二三品押收せられたりと聞く然れども其他の家宅捜索の結果は多數有力なる證據物件を押收して引揚げたり

▲察元課長拘引 は諸説紛々として或は他に重大なる事件檢擧せられ[illegible]事件には直接關係なるが如く流布せらるゝも當局者に就き質だしたるに全く同一系類として令狀を執行せられたるものなりと云へり

聯合繁榮會の抽籤

▲二等は辻屋商店の取扱ひ

居留民が待ちに待たる聯合繁榮會の抽籤は愈々昨七日午前十一時半より南山町本願寺に於て各委員列席の上擧行せられたり會する群集無慮數百人是が立會者には古城民長を始めとして和田大村の兩氏各新聞社員にして轉手は辻屋主八玉受山下新太郎氏と定り偕て形の如くして抽籤を了りたる其の結果は次の如し

一等	六四九、〇五七
二等	四四六、六九九
三等	六三〇、一九一
四等	三六〇、三九七
五等	四〇六、四九九
六等	一六七、五三〇
七等	三〇六、三六七

にして內六等七等は基準番號にて六等の一万飛び六十七本七等の二百飛び三千三百七十七本なりと引替期間は本日より本月末卅一日迄にして取扱時間は午前十時より午後四時迄賣捌總高は六十七萬五千二百本なりしとの事因に一等當り札扱店は辻屋二等扱店は襟德なりと

注意 六等の一六七、五三〇は一萬飛び基準番號なる故七五三〇の番號を有する者は其の頭に何萬の數字ある共等しく六等當籤者なり七等の三〇六、三六七は之れ又基準番號なる故只の一六七を土臺とし二百を增す毎に七等に當籤者と思ひ給へ

本町通の持兇器窃盜

▲家人に發見せられて
▲短銃を發砲なし逃走

昨七日午前四時頃の事なり本町六丁目田中支店の裏なる三尺窓より忍び込みたる一人の窃盜あり折しも階下に就寢し居たる同家の雇人は何となく怪しき物音に耳聳て能座泥棒に相違なきを確めたれば秘と寢所を起き出で二階に臥し居る主人田中嘉助に事の由を通じければ同人も打驚きて騷ぎ出したる爲めに折角の泥棒も遂に一物をも奪ひ能はずして裏庭より一段低き空地に飛び下り近くの板塀を飛び越ゑて逃走し去りたりとの事なるが其の際盜は脅しの爲めか

ピストル一發打放て

りとなり併し幸ひに傷人も被害もなく只屋の上に三ツの足跡殘りしのみにて其の服裝等も無論詳ならず目下嚴探中なり

歌舞伎座の奮發

▲福袋と景品券付き

昨冬來興し候の撃鳳村雨劇を映寫して好評を博したる東谷活動寫眞は元旦以來又々旭町歌舞伎座に於て開會し今回は「不如歸」を呼物として連日大入を占めつゝあるが今八日より大奮發を爲し別項廣告欄にある通り入場者に對し多數の景品を進呈すと云へば一層盛況を加へ他劇場をして顔色なからしめん

●濱次と電話の違ひ

▲藝妓の主は何人か

てふ新町は井門支店に奮服店出しせし濱次と云ふあだ者ありナンデモ大阪北區の生れにて東京の某技藝學校にて修學中昨年の北區大火に一家は丸燒けの憂き目に陷り學資の供給も途絶へたれば一時は非常に奮發し內職を締めてなりと業を終へんものと健氣な心も起せしかど思ふに任かせぬ女の腕珠には東都學生間の惡習は彌きに附け入り何時しか彼れを魔窟に引き入れしが持つて生れし美貌と多情は忽ち魔界の呼物となり天晴れ高等內侍と成り濟ましたる揚句の果て昨冬井門本店に來り愈々正眞正銘の女郎其名も濱次として現はれしが店出し匆々より引く手數多の其中に一入優れし某役所に通勤する某と云へるか和貫ひの客にも拘はらず餘りに親切なる言の葉に流石の濱次も乘り氣になり勤め氣離れて種々と取持も蜜しれく一夜を明かして復の逢瀨を約しけるが去る五日の午後三時頃仲居の某が濱次さん電話ですと通じければ早速電話口にて『モシ〱あなた誰れ……』『僕は今から京城ホテルへ新年宴會に行て五時に行くから店を引いて待つて居て呉れ』『ハイ〱乾度ですね―』と念を押しさて其れより急いで入浴を濟まし一生懸命に化粧を凝らして待ち居たるに待ち詫び五時も早や過ぎ六時を過ぎ七時が來ても一向相手の見へざるにぞ愈々業を煮やせしかど何處へ電話を掛けてよいやら一向住所さへも別からざれば止むなく他の客に侍べりしが迷惑なるは當夜の客にて電話の當て違いが祟りて過ぎる事甚しくトンチも無い飛火を喰ひしとか然るに翌朝となりつく〱聞けば右の電話てふは全く某消息通の惡戯なりし事判明し一同ゆゝしと云ふさるにても聞かまほしきは其消息通殿の名前にとす

●拔刀て年始のれ禮

▲警察官立會で大笑ひ

長崎縣平民當時龍山老松町四十三番戶倉持小三郎(五〇)は一昨六日夜鄰家なる大阪府平民當時老松町四十二番戶金融種田万吉(三六)方へ突然拔刀にて侵入したれば家內のものは何事の起りしやと若し切られては一大事と早速警察署へ訴へ出でたればすわ大變捨置けじと早速巡査出張し取調べしに小三郎は亂醉の体なれど平氣にて亂暴を働く積りでもなく只れ目出度正月の屠蘇を少々多く飲み愉快でたまらず日頃の自慢の劍舞を一さし舞ひ納めんと來りしと分明し果は大笑ひにて濟ずみ

●廿錢から鼻血

北部十字橋十橋洞十一統七戶性の學徒與景琪(一八)なる者去る六日午前十一時頃本町五丁目四十二番戶の洋燈商山本莊作方に至りて六十錢の洋燈一個を買はんとして之を四十錢に價切りたるに同家の店員小池丑之助(二〇)は六十錢の物が四十錢になるものかと憤り出し要を戶外に突き出したる上其の頰桁を食はしたる始末に泣くやら鼻血を出すやらの騷動となりしが別に傷とても無き事とて小言頂戴にて事濟み

●拒まれて亂暴

兵庫縣平民目下蓬萊町一丁目八番戶居留土木請負業森本龜三(二九)は昨七日午前三時頃旭町一丁目樓栗亭向井イチ方に至り登樓せんとせしも既に同亭は火を落し寢に就きたる後なりしかば都合好く斷りたるに其れが癪だとかにて暴れ出し硝子戶を蹴破るやら格子窓を引き壞ぐやら狼籍を極むるにぞ遂に同家の主人之を取押へて訴へ出でければ目玉頂戴の上放還さる

●理事廳に放尿

去る六日午後四時頃酩酊なしたる醉漢側らに看務巡査の立ち居るにも不拘理事廳煉瓦塀に放尿せんとするより之を見たる同巡査は穩かに之を制止せんとなしたるも癡漢の爲め止を得ずとて却つて暴言を吐き散すにぞ運擧の上覺醒するを待つて說諭の上以後乾度心得居らう

各地の新聞

▲鐵道距離と時間

本邦鐵道線の延長と共に其速力の如きも當時に比し著るしき進步を來したるが如かも進步の度は必ずしも一樣なる能はず即ち試みに東京を中心として官線主要驛間の距離、到着時間及一時間の進行力を示せば左の如し

地名	距離(哩)	到着時間	一時間進行哩(約)
釧路	九八三	八〇	一二
鹿兒島	九四五	四六	二〇
鳥取	六〇八	四二	一六
札幌	七〇五	四二	一七
長崎	八七二	四〇	二二
米子	六〇〇	三九	一六
熊本	八二九	三八	二二
佐賀	七八八	三六	二二
函館	五二五	二八	一九
三田尻	六五〇	二七	二四
高松	五〇〇	二六	一九
廣島	五六五	二三	二四
富山	四三六	二一	二一
青森	四六五	二〇	二三
舞鶴	四四六	一九	二三
秋田	三五五	一九	一九
福知山	四二六	一八	二四
和歌山	三九五	一八	二二
新潟	二六七	一七	一六
奈良	三一七	一三	二四
山田	三〇六	一三	二三
松本	一五二	一一	一三
長野	一三五	八	一七
甲府	八〇	六	一三
水戶	七三	三	二四
千葉	二三	一	二三

▲高良宮祭日改定

福岡縣久留米市外御井町高良宮玉垂神社にては本年より各祭典とも陽曆に據ることゝし期日を左の如く變更したり 年頭祭(一月一日より三日間)春祭(二月一日より七日間)地鎭祭(二月十五日)延命祭(二月二十一日)五穀祭(二月十五日より七日間)神幸祭(四月十五日より七日間)夏祭(七月三十一日より二日間)秋祭(十月九日より五日間)例祭(十月十三日)川渡祭(十一月三十日より二日間)鎭火祭(十二月一日)除夜祭(十二月三十一日)

▲中村梅玉の危篤

中座出勤の中村梅玉は三日舞を終ると同時に腦貧血の氣味にて卒倒し自宅へ歸り目下療養中なるが症狀甚だ危險の虞ありと

▲主のない功二級

去る二日午後二時頃東京市麻布區本村町百十六佐藤座太郎は同區東鳥居坂町二番地先にて功二級金鵄勳章を拾得して麻布署へ屆出で又芝區新網町北二十五神保與三松は同區金杉橋上にて同時刻に勳八等瑞寶章を拾得し之亦屆出でたるが四日に至るも未だに其の主が見付からないとは如何に正月だとて暢氣千萬

▲無料紹介欄▼

人事部

●看護婦 病院又は醫院藥局へ 年齡十五歲位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と疊敷二間六疊二間 廻縁井戶物置附 取付家賃御談 氏名在社(四七八)
●貸家 北部壯洞廿九の四 貸家あり宮内府其他韓國各官衙には便益の地 希望に應じ御談判上候
●貸家 京城吉野町四疊四間湯殿付 官吏又は會社員向 希望者は電七四番へ
●貸家 浪渡 氏名在社(四九六)
●電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 龜井
●老舖讓渡 本町一丁目好位置の場所 多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

大勉强
理髮 長崎床
龍山元町民團役所下四ッ角 塚田

龍山寮町
最新式 高等洋服
田口洋服店
電話三二番

龍山若松町
島崎鐵工場
電話四四番

入院
内科 外科 小兒科 眼科
龍山新市街山下町
原醫院

龍山若松町
建築土木請負業 御用達
磯口商店
電話一一九番

清凉 純良 特選御用 牛乳
京城龍山 荒井牧場

本品は其質精良にて營養分に富み日常の飲料として身體を强壯にし元氣を增し顏る衛生に補益有

蜂印 香竄葡萄酒



◉新漬大根大賣出
◉新漬澤庵◉白菜漬◉奈良漬
官衙御用達 長崎工部局御用 病院其他御用品 消毒用藥品一式 衛生材料 官衙需品一式

諸官衙御用達
京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

●電話開通 八百三十五番●
唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無烟炭あり
京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集豐富 ◎校正嚴密 ◎携帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

右豫賣廣告以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては茲に一層奮勵致し大目を縮約、官制、官等、任用、俸給、其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增補し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し辨か愛讀に副はるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御寄贈に應じ可申此際續々御用仰せ付けられ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

開店廣告
今般左記の處に開店致し破格勉强可仕候間陸續御用命の程奉願上候
牛肉・鷄肉・豚肉
京城本町二丁目理事廳前
阪本精肉店
電話一三一九番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

綿わた綿ワタ
(たやすくうります)
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
卸問屋
京城明治町一丁目四ッ角
唐川商店
電話二六一番

誠實勉强
開店廣告
御料理 すき燒
洋食 出前仕候
辨當
京城鐘路裁判所裏
鐘路軒



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島彝藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
消化藥 ヂヤスタリン
滋養消化劑 グスチンヂ
錠劑 十粒入(三十粒入一瓶)二十錢
散劑 一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑 十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散劑 一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最も完全に消化を助け無比の超絶的良品にして所謂胃藥の效用を兼ね各地有名なる藥店に於て販賣致候
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一二一五番)

東京 足袋



本店東京 京城大和町一丁目 (日の出橋際) 大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

味噌 漬物 醬油 製造元
京城本町五丁目
特約販賣 自製
和洋酒、罐詰、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物、ビール、米糀、燒芋、日本食豐荒物、食料品其他種々特約販賣御望に依り商品切手調進仕候
大上商店
(電話二五一番)

蒸汽消毒 牛乳
京城大和町二丁目
平山牧場
電話一一三

荒物世帶道具一切
大阪合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚網道具卸小賣
荒物世帶道具、各國諸油、米穀、銘酒澤龜、アサヒ、サツポロ麥酒 並に賣買
地方在住の各位には御注文により御便宜取計申候
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二〇番
振替貯金口座東京(九四〇七番)

改修落成と電話開通
久しく改修中の處今般落成仕候間不相變御贔屓の程願上候
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 辨月
電話二六五番

瑞西ダバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計
獨逸國 スタンツナ 自轉車特約販賣店
仁川本町
時計卸商 喜多金光堂本店
電話七〇番
京城本町二丁目
時計卸小賣 喜多金光堂支店
電話十五番

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ
京城旭町一丁目六十七番地(紹介所裏)
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日步壹厘四毛)
長崎貯蓄銀行代理 (十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行京城支店
京城本町二丁目
資本金五百萬圓
爲替取組先
頭取 安田善三郎

日本郵船株式會社
貨物及搭客取扱店
郡回漕店
仁川 [illegible]